

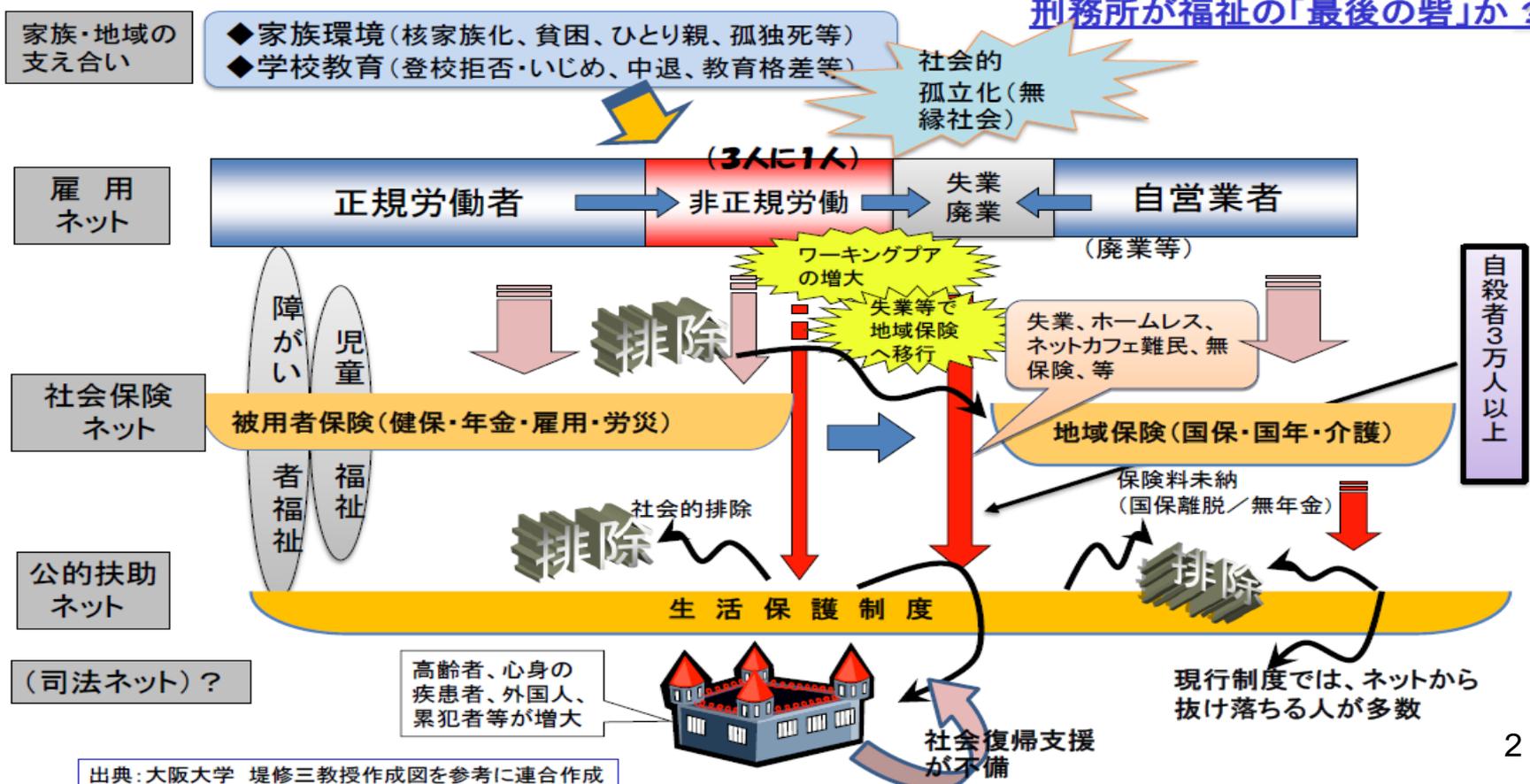
◆ 社会保障を巡る現状と課題

- グローバル化、世界経済危機等による経済停滞と非正規労働者の増大、さらに家族・地域の機能低下が少子高齢化・人口減少に拍車をかけている。
- 不安定・低賃金の非正規労働者の増大と賃金低下が、雇用・生活・将来不安を増大させ、国内消費が低迷し、さらなる物価下落とデフレ経済の悪循環をもたらしている。
- 家族・地域の機能低下をカバーする社会的支援（子育て、介護サービス、就労支援等）が不十分で、若者、女性が良質な就労・雇用に結びつかない。
- 加えて、社会保障の機能不全が、貧困と格差を拡大させ、社会保険の支え手の減少、税収減による財政悪化をもたらしている。

◆機能不全に陥ったセーフティネット

雇用や社会保障のセーフティネットから排除された者が多く発生し、生活保護が受けられないために、犯罪を繰り返す人も少なくない。

刑務所が福祉の「最後の砦」か？

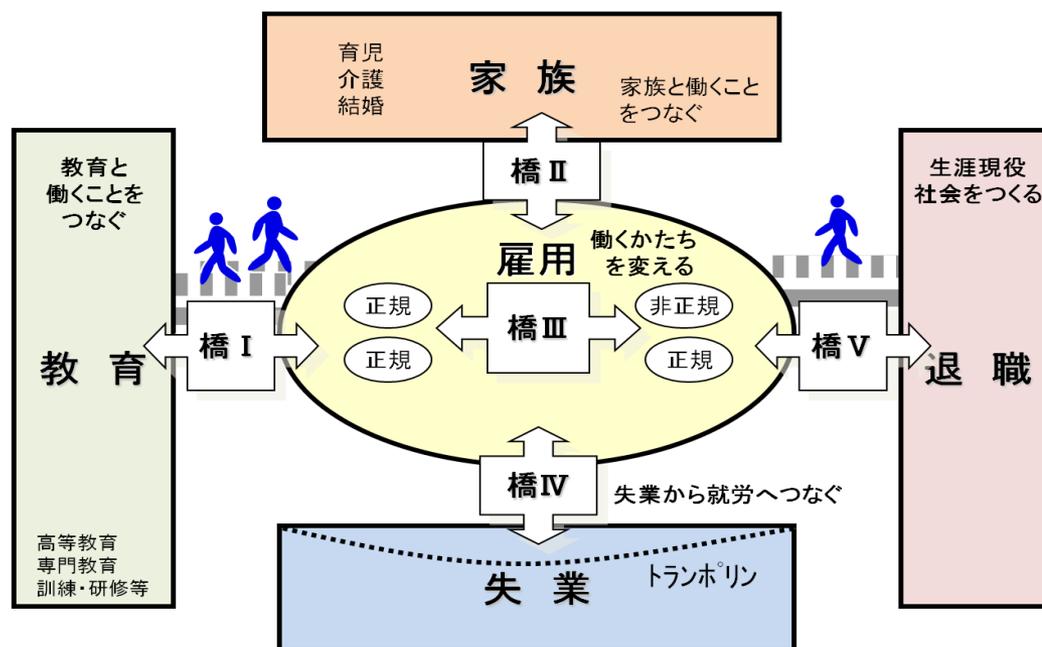


出典:大阪大学 堤修三教授作成図を参考に連合作成

◆ 連合がめざすべき社会像

働くことを軸とする安心社会

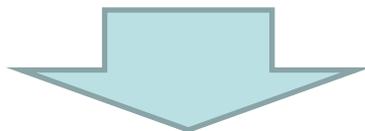
働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる参加型の社会。



◆ 社会保障の現状と連合がめざす社会保障の姿

現状と課題

- ① 少子高齢社会の進行と家族の変化・多様化
- ② 非正規労働市場の拡大と格差・貧困の拡大
- ③ 社会保障の機能不全と国民皆保険・皆年金の危機
- ④ 新自由主義モデルの行き詰まり
- ⑤ 「日本型福祉社会」の限界
- ⑥ 社会保障財源の逼迫と再分配機能の低下



連合がめざす社会と社会保障の姿

- ソーシャルインクルージョン(社会的包摂)政策の推進
- 「人間の安全保障」と社会保障の機能強化
- 積極的社会保障政策と積極的雇用政策の連携
- 全世代支援型の社会保障体系の構築
- 社会連帯を基礎に社会保障の安定財源の確保

連合がめざす三層構造のセーフティネット

